

特別企画第 2 弾

“ギャラリートーク ケニアの野生動物のいま”

6月6日(日) 13:00-15:10、JICA 横浜 会議室

1) アフリカを取り巻く状況と JICA の取り組み

パネリスト 松本 淳 同センター次長 (54 才)

プロフィール 1981 年 JICA に就職、1985-88 スリランカに駐在
1997-2000 ケニアに駐在

① 独立行政法人 国際協力機構 (Japan International Cooperation Agency) について

緒方 貞子 理事長

世界に 70 箇所の事務所をもつ。日本国内にも複数の事務所を持ち、世界中から研修受け入れを実施している。アフリカには 30 箇所の拠点を有し、青年海外協力隊員を 24 ヶ国に派遣している。他の先進国も、JICA と同じような組織をもっている。

米国は、USAID、英国は DFID、韓国 KOICA、国際銀行は IBRD や IDA である。

② 衛星から地球を見ると光の固まりが日本や韓国、中国の海岸部やインドなどにみられる。

アフリカ 53 ヶ国のうち、ナイジェリア、象牙海岸国、南アフリカ共和国などの光が強いが、他は暗い。この光は、経済活動を表している。

③ 衛星で、アフリカの気候を見ると、ヴィクトリア湖から西海岸に向けての広大な地域が濃い緑だ。熱帯雨林で、ウガンダには多くのゴリラが生息している。人々の主食は、トウモロコシの粉から作るウガリ (国や民族によって呼び名が異なる) だ。アフリカの北部や南部は、ほとんど緑がないか、薄い茶色だ。これは、サハラ砂漠などの乾燥地帯である。そして、黄緑が広がっている地帯が、サバンナであり、多くの野生動物が生息している。タンザニアとケニアの国境地帯には、キリマンジャロ (キリマは山を意味し、マンジャロは、輝くことを意味する) が聳え、麓では、雪解け水を豊富に使って、JICA 指導によるコシヒカリの生産が行われている。これは、例外的気候である。サバンナには、草原とキリンが好むアカシアが群生している。ケニアの首府ナイロビは、マサイ語で、「新鮮な水」という意味だ。

④ UNDP (国連開発計画) の 2007/2008 の石油に換算した一人当たりの熱量消費と比較してみると、アメリカが約 7800 キロ、日本が 4100 キロ、中国 1300 キロ、ケニア 500 キロである。ケニアの水準は、アメリカの 15~16 分の 1 である。

JICA は、青年海外協力隊員を教師として学校に送り込んでいる。言葉が分からなくても、理科とか、数学であれば、子どもたちに教えられるからだ。私も、岸田袈裟さんを尋ねてヴィクトリア湖周辺を歩いたときに、学校を訪ねたことがある。そこでは、お母さん達が、養鶏場を自主経営し、子どもたちに卵を供給していた。ガーナでも、森林保護をテーマにした女性の活動を見た。森林を破壊するのは、住宅や道路のような大規模な開発を実施したとき

が大きい。住民参加型の森林を守る運動が育っていた。

セネガルでは、外務省の無償援助で苗木の作り方を教えていた。ケニアでも、植林運動を奨励している。アカシアなどが、短期間で育つものには驚いたものだ。車の修理や啓蒙用の教科書作り。野生の動物の繁殖を手助けする仕事などがある。

⑤ JICA の姿勢と発展途上国の人々の見方

地元の文化や人々の生活を尊重し、急激な変化をもたらさないように注意すること。民族紛争は何処にでも、大なり小なり、発生することを理解し、地道な支援に徹すること。開発途上国の人々の日本に対する見方は、「第二次世界大戦で原子爆弾を落とされた国にもかかわらず、トヨタやソニーに見られるような優秀な先端技術を持った国。同時に、神社や仏閣を大事にする大衆文化をもった国」という印象だ。

⑥ その他のトピック：

- * ケニアに駐在していた時に、アルカイダのテロによってナイロビのアメリカ大使館が爆破され、多くの死傷者が出た。その時の駐ケニア日本国全権大使は、ペルーの大使館占拠事件で有名になった青木大使だったが、彼から、JICA に電話があり、医療班を直ちに派遣すべしと指示があった。医者が数名（4名）と看護婦さんが居たが、彼らは直ぐに現場に直行し、献身的に血まみれの人々の救出にあたった。
- * 岩手県出身の岸田袈裟さんは、JICA の専門家として、ケニアの農村の生活改善に努力した。ケニアの農村では、昔からの煮炊きの方法で薪を集めて燃料としていたが、袈裟さんが、岩手県遠野市の窯（かま）の技術を伝えた。複数の口があり、その一つには、常にお湯を沸騰させており、それによって、家庭内の食器類の熱湯消毒に努めた結果、衛生観念が普及し、伝染病の予防に効果をあげた。その岸田袈裟さんも、今年、なくなってしまった。
- * アフリカの国の国境は、直線が多い。タンザニアとケニアの国境もしかりだが、よく見ると、一箇所曲がっている。タンザニアがドイツ領で、ケニアがイギリス領であった時代に、ドイツ皇帝とイギリスの女王が、親戚同士だった。ドイツ皇帝が、キリマンジャロが欲しいとねだったところ、イギリスの女王が、承知したので、キリマンジャロの領有は、タンザニアに帰属する結果となり、国境線がそこだけ曲がってしまった。
- * 胡錦濤主席がアフリカを訪問した時の話。ライオンなどの野生動物の「狩り」を見ることは、まれにしか遭遇できない珍事だ。そこで、中国大使館が、当局に頼み込んで、胡錦濤主席が、通過するタイミングを計って、ライオンを檻から放したということだ。「偉い人」を喜ばせようとする努力は、日本人よりも中国人の方が強いらしい。
- * 国旗の意味すること。英国の国旗（スコットランドとウェールズの旗を組み合わせた）、オーストラリアの国旗（英国の国旗を一部に据えている）、リベリアの国旗（アメリカの星条旗の星の部分大きな一つ星にした。奴隷解放によって解き放たれた奴隷達が建国した自由の国という意味）、ケニアの国旗（草原、血、大地、そして、中央にマサイ族の盾と槍。国土を守るという強い決意の表れ）

*ケニアには、40以上の部族がいる。苗字の頭にウン（N）がつく部族もあれば、オ（O）がつく部族もある。ヴィクトリア湖周辺の部族は、オデラ、オギンガ、オバマなどだ。アメリカ大統領オバマ氏の父親もこの辺からアメリカに渡った。